

札内川ダムの防災操作効果について

前線の影響による9月1日からの雨により、札内川ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

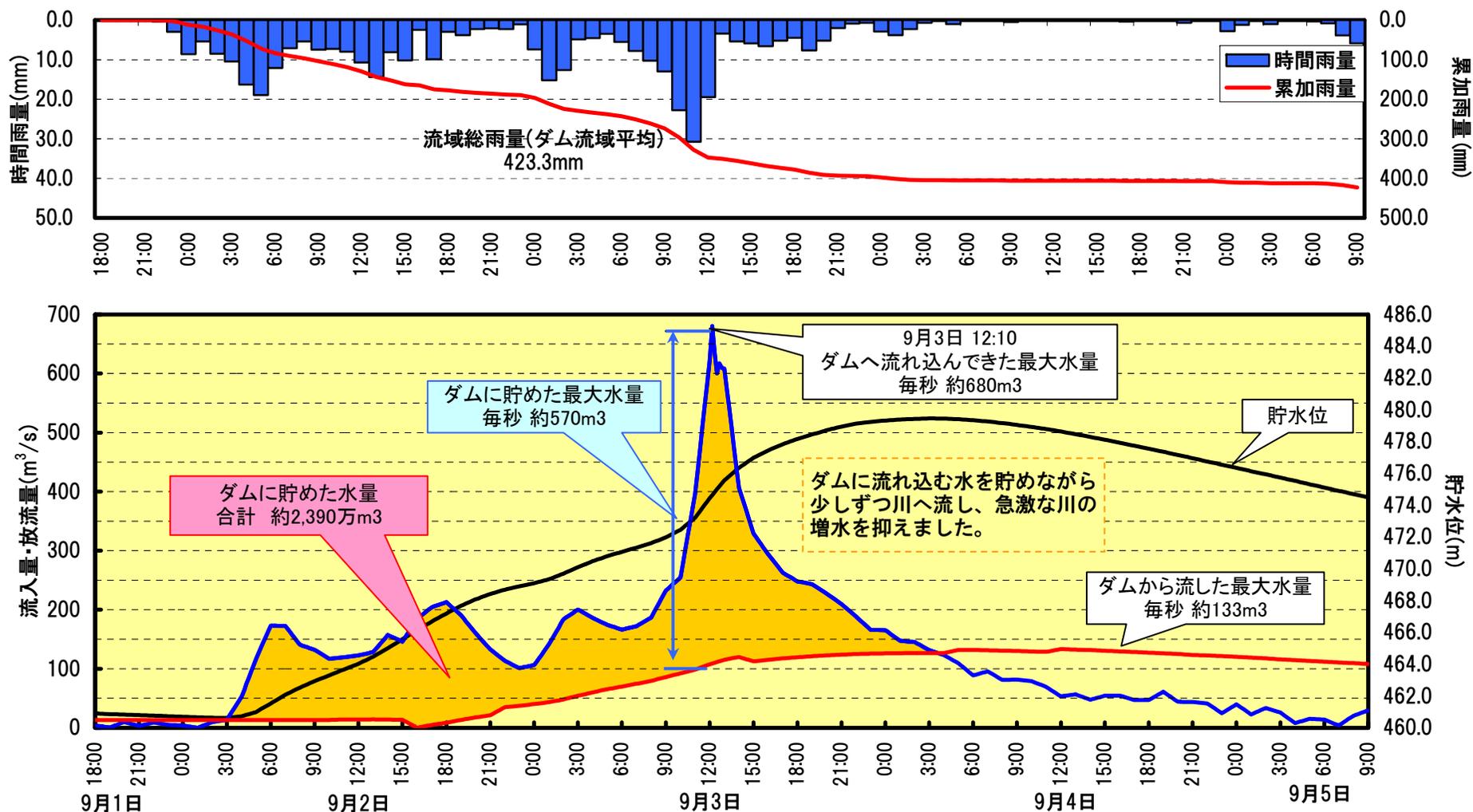
ダムに流れ込んでくる水の一部を貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、十勝川の南帯橋（南帯橋水位観測所）付近の水位を**概ね1 m程度低減**させたと想定されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

札内川ダムの防災操作状況

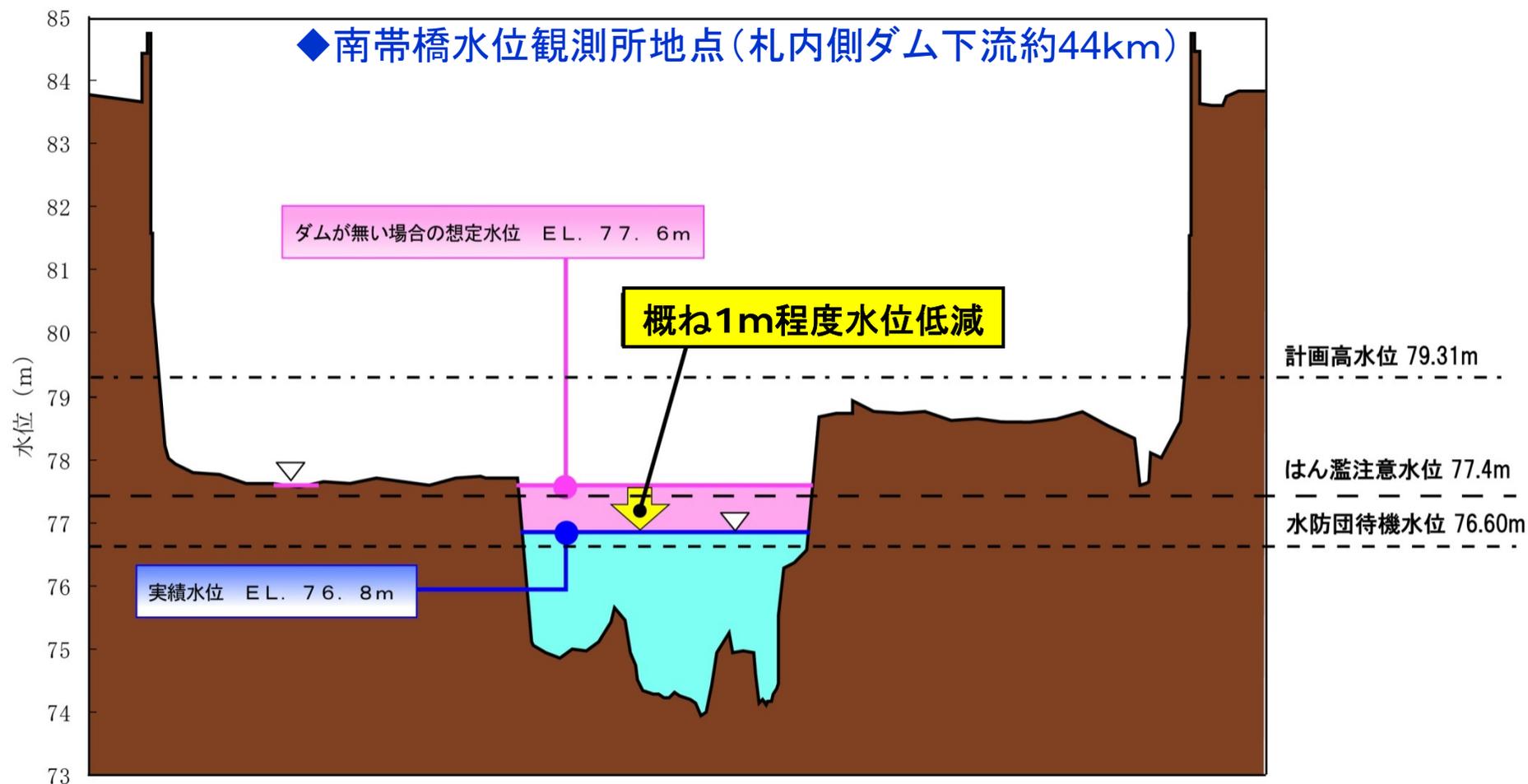
今回の出水において、札内川ダムでは、最大で毎秒約680m³の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒130m³程度に抑えることで、差分をダムに貯め込み、約2,390万m³（札幌ドーム約15個分）の洪水を貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

札内川ダムによる水位低減効果（南帯橋水位観測所地点）

札内川ダムの防災操作により、十勝川の南帯橋（南帯橋水位観測所）付近の水位を**概ね1m程度低減**させたと想定されます。これによりはん濫注意水位を超える水位上昇を抑えたと推測されます。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。